



鈴木 勝彦 議員

公共施設等のあり方について

問 公共施設総合管理計画について。

答 本市では建築後30年以上を経過した公共施設が多く存在し、建て替えや大規模改修が必要な時期が到来している。限られた予算

の中で、全ての施設を維持あるいは老朽化対策を施すことは財政的に困難な状況であり、「公共施設のあり方」は、長期的な視野に立って、公共施設の再配置を図り、より良い状態で将来世代に引き渡すことである。

問 基本的な考え方・方向性は。

答 市の財政状況は、福祉・医療・教育・防災など市民生活を支える行政サービスはますます重要になる。年々増加する扶助費の伸びに対して、公共施設にかけられる予算が減っていくなれば、施設の総量（面積）を減らさなければならない。「公共施設総合管理計画」では、「維持していく施設」50施設と「複合化・機能移転等

による総量圧縮を行う施設」40施設にすみ分けを行い、長寿命化対策を施し、安全性・快適性を保持し、長く使っていくことにしていく。

こうすることで、建て替えが必要な公共施設も最低限に抑えることが可能になり、学校の建て替えに合わせて機能を集約化・移転するなど、他の施設との複合化を視野に、必要な行政サービス（施設の機能）は維持していく。

問 「長期財政計画」のシミュレーションから見てくる課題は。

答 令和2年度当初予算編成では、経常経費一般財源に着目し行政内部の事務経費の効率化を含めて、少し先を見据えて事業を見直しするといったテーマを挙げている。公共サービスとして何を選択していくか、歳出面では抑制や財政負担の平準化、歳入面では企業誘致の推進など、市全体として財政運営が必要と考えている。

問 旧高浜職業訓練校跡地活用について。

答 愛知県は本年6月から解体工事に着手の予定であり、解体後の跡地活用の具体的な計画は未定とのことだが、可能であれば、引き続き少年野球の練習場等として活用できないか申し入れをしていきたいと考えている。



杉浦 康憲 議員

新型コロナウイルスについて

問 3月5日、9日は高校入試だが、休校期間中で生徒に不利益にならない対応をいただけるのか。

答 臨時休校前に指導を済ませ、入試は教職員が担当して各高等学校入口で出席

や健康チェックをして励ましていく。

問 突然の休校で、学習内容が全て履修できていない。やはり学校は学ぶことが本分で、履修できていない範囲をどう対応していくのか。

答 新年度は、どの教科も前年度の復習から始まるので、その時間を少し多めに取り、丁寧に進めていく。どこまで学習が済んでいるのか、校内はもちろん、小中学校間でも確実に引き継ぎをしていく。

子宮頸がんワクチン接種の個人通知について

問 多くの自治体が、国による積極的勧奨の差し控えを受け、個別の接種案内を控えてい

る。いくつかの自治体では、「将来の不利益とならないよう、ワクチンの存在を知らせる」ため、個別通知を実施しており、高浜市では個別の案内を控えているが、今後も個別通知を行わないのか。また、子宮頸がんワクチンが、現在も定期接種であることをどのような手段で伝えているのか。

答 本市では、個別の案内通知を行っていない。市の公式ホームページで接種回数や時期、対象者などを掲載している。

問 国はインターネットによる調査を実施し、4割の方が接種について「分からないことが多いため決めかねている」とされている。ワクチンの安全性や有効性に関する情報がしっかりと伝わっていないことが理由であると考えられる。この調査結果を受け、国はどのような対策を講じているのか。

答 ワクチンに関する認知が十分ではなかったことから、より分かりやすいリーフレットとするために記載内容を改訂するとともに、接種対象者やその保護者に対して、より確実に情報を届ける方法を検討していく。